

資料① グループワークシート

★「就労訓練事業所を利用された方から生の声を聴こう!」で得た気づきをグループで共有してください。

【登壇されたお二人に関する気づき】

- ・二人とも精神的に強い、前向き、一般就労したいという気持ちの強さを感じた。
- ・自己分析が2人ともできている。自らの疲れを知れたことも大きいのではと感じた。また、今の自分を認めている。(2人とも個性としてとらえている。)
- ・最初から一般就労を目指してあったところに驚いた。ご本人の「一般就労したい」という気持ちに迷いがないと感じた。
- ・お金をもらうことは責任をもつことという言葉が心に残った。

【支援員としての気づき】

- ・自信つけてもらい、目標立てることの重要性に気づいた。
- ・業務とお金を結びつけるところから機会を与えても良いのではと感じた。
- ・ご利用者と話す機会を作る。定着支援の機会(グリーンファーム、もしもしネット)を活用することの重要性を説明すること。
- ・その方なりに不安が小さくなる方法、傾聴や相手を受容することで安心するのではと気づけた。
- ・ありがとうや感謝の言葉の声かけが大切である。(できるだろうと思って言わないことがあることを反省。)
- ・自分でできること、強みをもっていることに気づいていただけるような支援を行いたい。
- ・A型でよい、B型のままでよいという方達にどうアプローチしたらよいのかという悩み、迷いがある。
- ・B型からA型に移ったらどうなるのか具体的に日々伝えていく必要がある。
- ・高校大学と普通に卒業して仕事に就けない発達障害がある方や、働きたい気持ちがあっても能力的に難しい方にはどのように支援すれば良いか迷うことがある。
- ・ご利用者自身が個別支援計画を意識しながらというのは難しいようなので、支援する側が意識して支援をしていく必要性を感じた。
- ・働くうえで様々なステップ(道)があるため、利用者に沿った支援を行っていききたい。
- ・積極的に一般就労できるようにサポートしていききたい。

【事業所としての気づき】

- ・A型事業所とB型事業所では利用者の就労への意欲の違いがはっきりしたと思う。
- ・家族などその方が持っている環境の違いも影響すると感じた。
- ・もしもしネットや就労移行支援事業所との連携が必要だと感じた。
- ・事業所職員に本人が希望する支援が提供できない場合(PC作業がしたいけど、今の事業所にはない等)は関係機関につなぐことも必要。
- ・現在、時給が上がり、A型で頑張ると生保がはずれてしまう状況が出てきている。
- ・本人と事業所がマッチしていたから、うまく一般就労までつながったのではないか。
- ・B型から直接一般就労へ進んだ実績があればもっと全体として活発になるのでは。
- ・B型は低賃金、ある程度の能力ある方は一般就労へ。それぞれ持っている能力が違う。自己評価が高い人、自分は無理という自己評価の低い人の差が激しい。
- ・能力の高い人もいるがB型ではこのままでよい、という方も多い。その方が持っている気持ちや考えに違いがある。作業に集中する力にも差が大きい。
- ・定着訪問で安定した長期雇用が目指せると良いと感じた。